

令和5年度 奈良県立病院機構 決算の概要

資料1

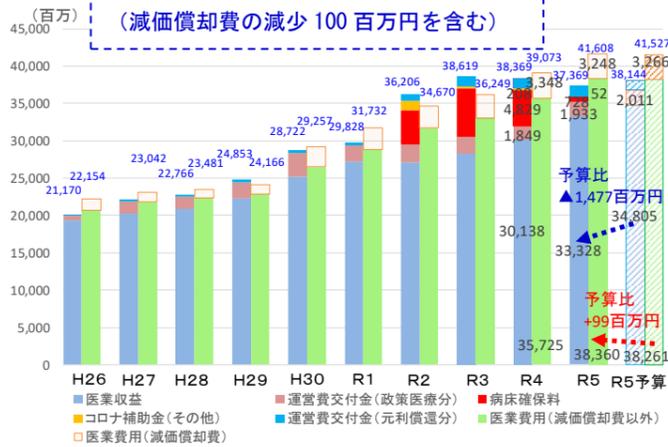
令和6年7月5日

【**医業収益・費用**】 ○医業収益は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、病床稼働率の増加等により、**機構全体で令和4年度よりも3,190百万円増加し、予算に対して1,477百万円減少**した。

○医業費用は、働き方改革等への対応に伴う職員数の増加による給与費の増、高度医療の増加等による材料費の増等により、**機構全体で令和4年度よりも2,535百万円増加し、予算に対して81百万円増加**した。

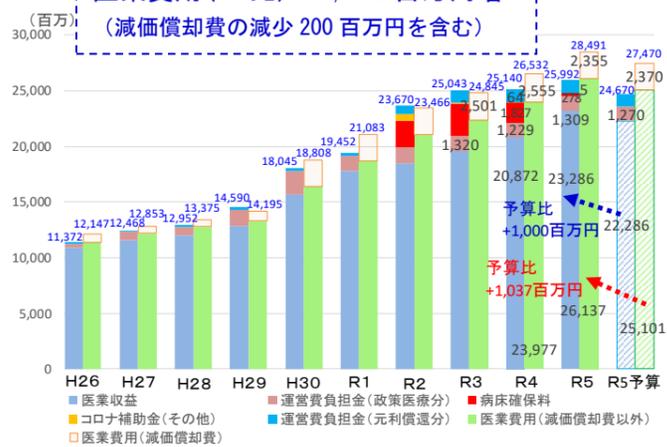
【機構全体】

医業収益(R4比) : 3,190百万円増
 医業費用(R4比) : 2,535百万円増
 (減価償却費の減少100百万円を含む)



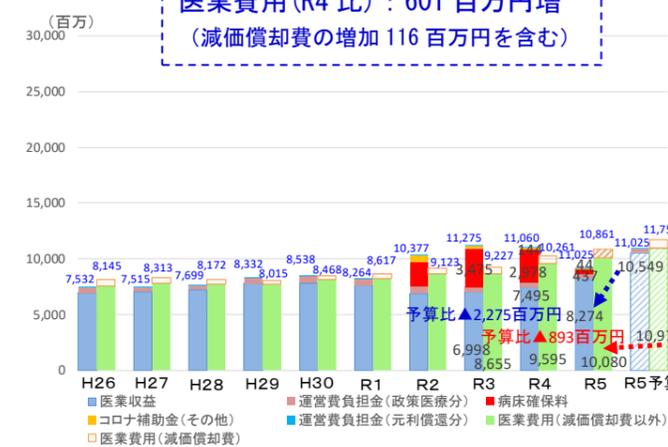
【総合医療センター】

医業収益(R4比) : 2,413百万円増
 医業費用(R4比) : 1,960百万円増
 (減価償却費の減少200百万円を含む)



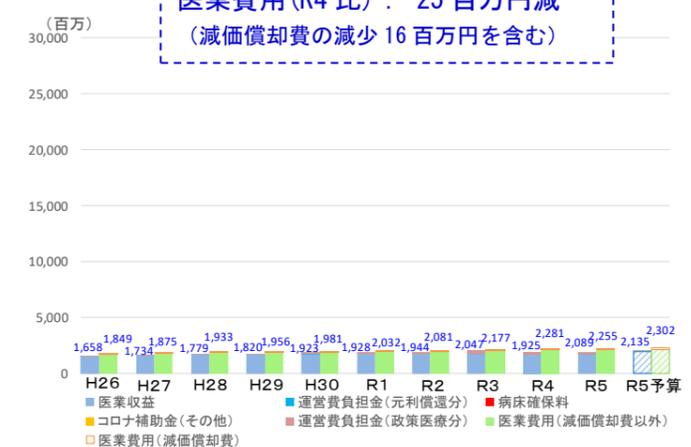
【西和医療センター】

医業収益(R4比) : 780百万円増
 医業費用(R4比) : 601百万円増
 (減価償却費の増加116百万円を含む)



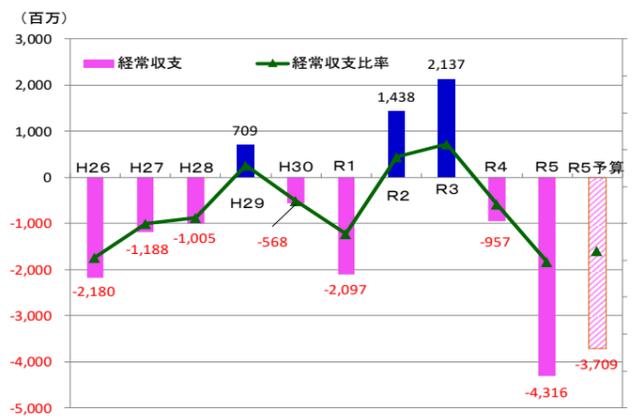
【総合リハビリテーションセンター】

医業収益(R4比) : 3百万円減
 医業費用(R4比) : 25百万円減
 (減価償却費の減少16百万円を含む)

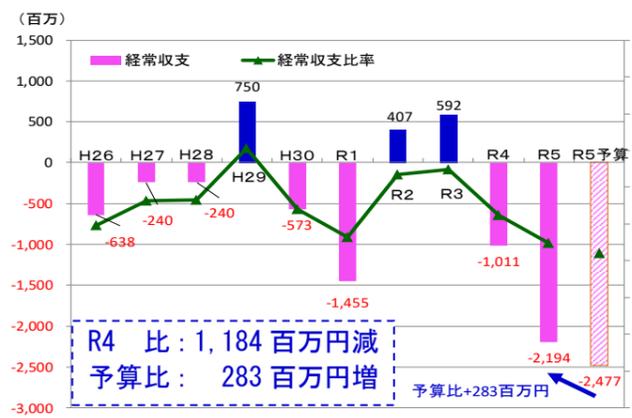


【**経常損益**】 ○上記医業にかかる収益確保に加え、給与費・材料費等の費用が増加したことにより、経常利益は**令和4年度よりも3,359百万円減少し、▲4,316百万円**となった。**予算に対しては607百万円減少**した。

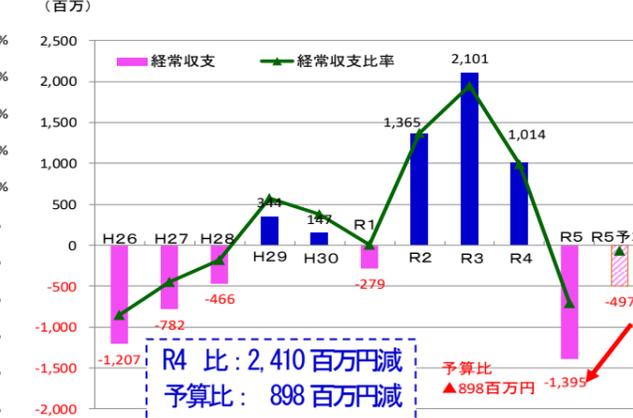
【機構全体】



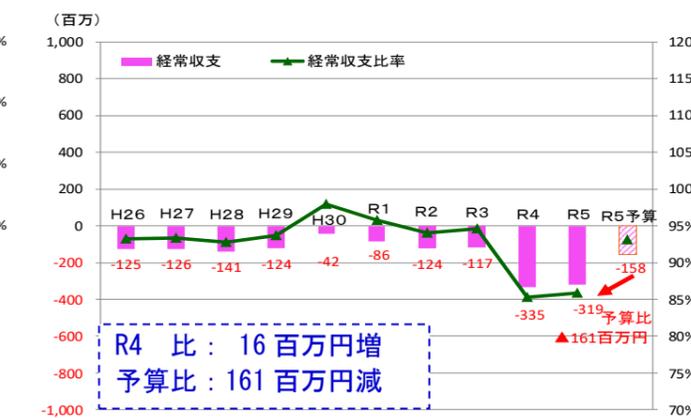
【総合医療センター】



【西和医療センター】



【総合リハビリテーションセンター】



【損益について】

○医業損益▲8,280百万円 (前年度比+655百万円、予算比▲1,558百万円)

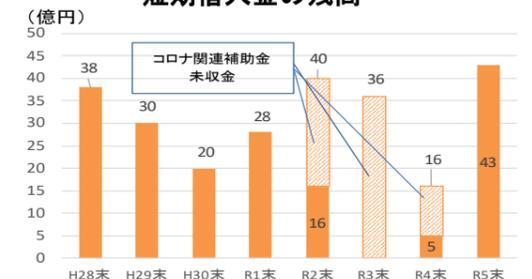
○営業損益▲4,256百万円 (前年度比▲3,283百万円、予算比▲490百万円)
 (医業損益に運営費交付金3,165百万円、その他営業収益1,434百万円等を加算)

○経常損益▲4,316百万円 (前年度比▲3,359百万円、予算比▲607百万円)
 (営業損益から営業外損益▲59百万円を加算)

【キャッシュ・フロー】

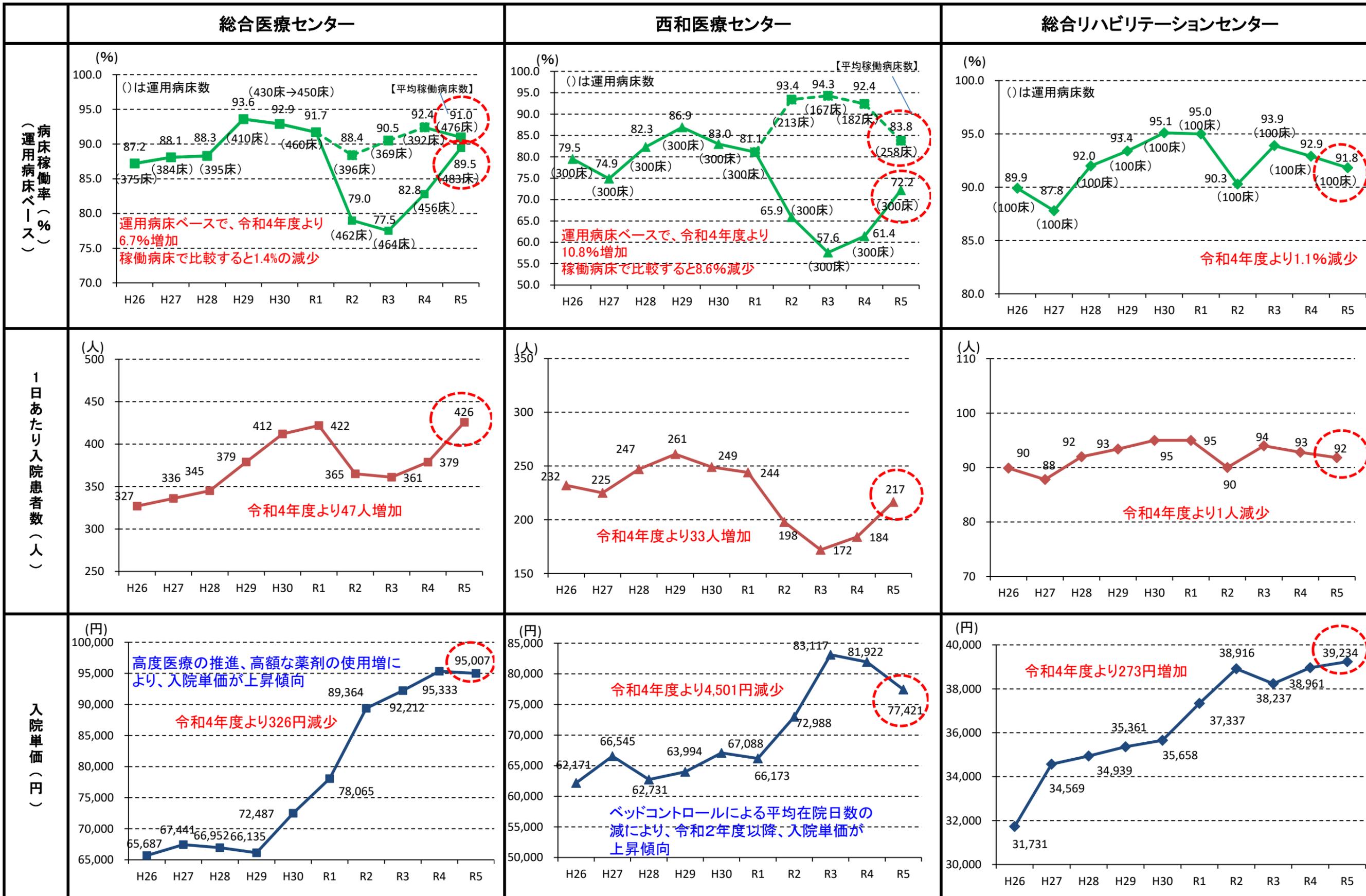
短期借入金の残高は前年と比較して27億円増加し、過去最大の43億円となった。

短期借入金の残高



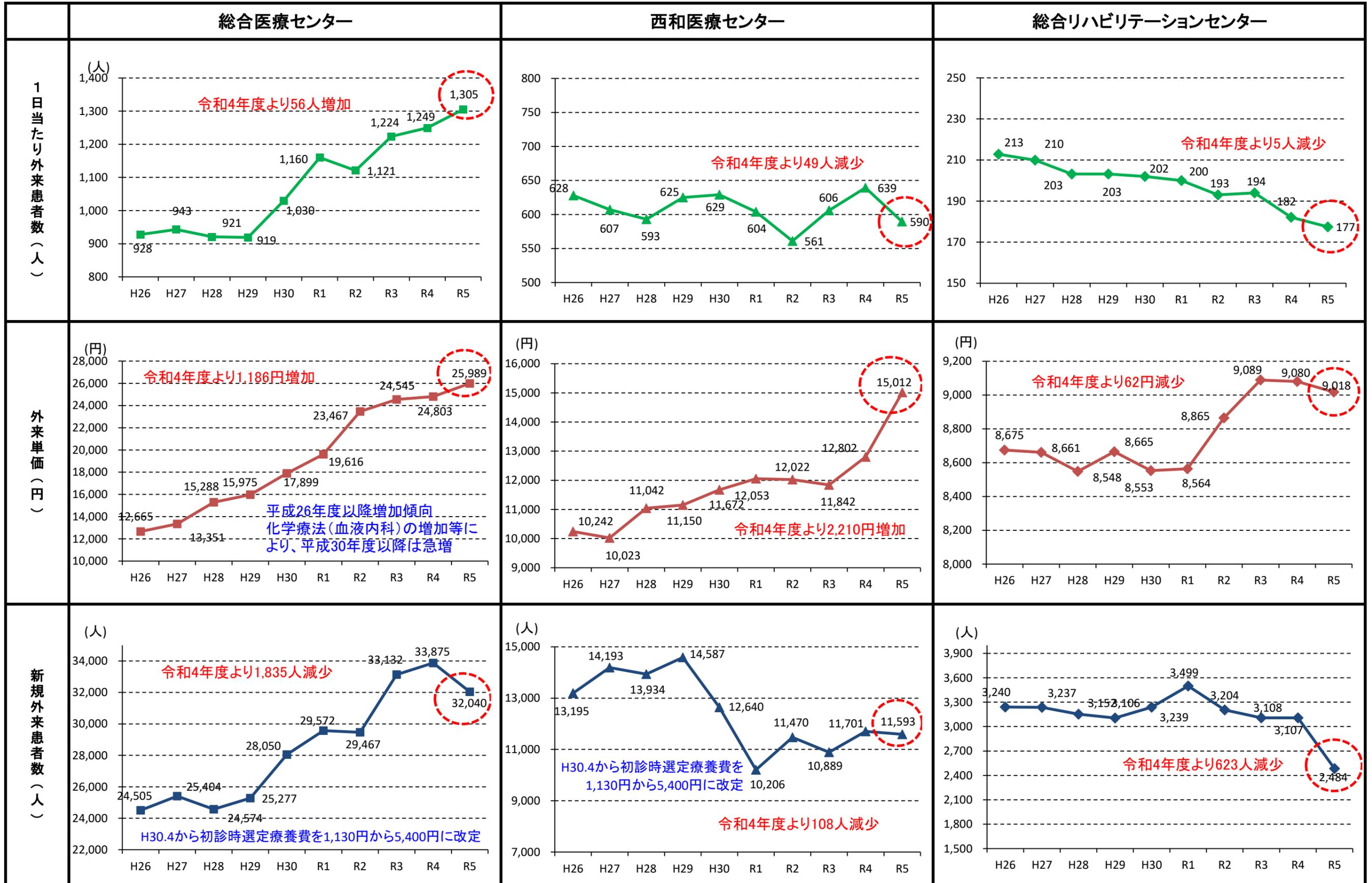
入院

各病院における診療指標の推移①(入院関係指標)



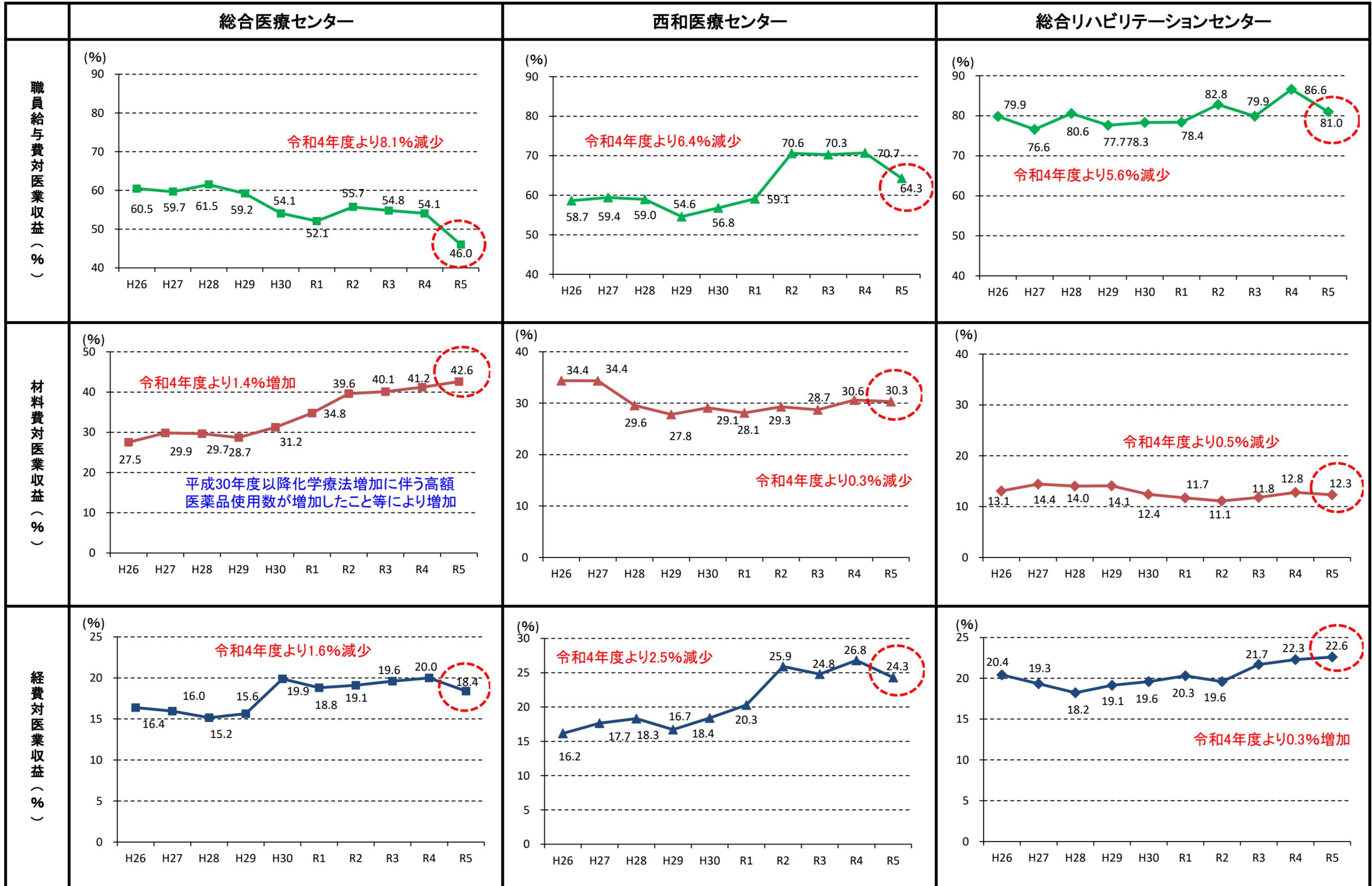
外来

各病院における診療指標の推移②(外来関係指標)



費用

各病院における診療指標の推移③(費用関係指標)



その他

各病院における診療指標の推移④(その他指標)

